

千葉県食育推進計画施策事業評価について

視点	2 人から人へつなぐ文化
施策の方向	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校における「いきいきちばっ子」の育成と学校給食を活用した千産千消の推進 2. 触れ合いや体験を通じて「農業への理解」や「命の大切さ」を学ぶ取組の推進 3. 郷土意識を育む取組の推進
重点施策項目	<ol style="list-style-type: none"> 1)学校における食育の指導体制と指導内容の充実 2)学校給食を活用した食育の充実と千産千消の推進 3)生産者との触れあいや都市と農山漁村の顔の見える交流の促進と体験を通じて食を学ぶ取組の推進 4)地域の優れた食文化や食習慣の継承
主な事業	<ol style="list-style-type: none"> ①いきいきちばっ子食育推進事業、各種栄養教諭・学校栄養職員研修会 ②「千産千消デー」の実施、千産千消推進会議の設置 ③いきいきちばっ子健康・体力づくり推進事業
主な事業の概要	<ol style="list-style-type: none"> ①各種研修会において市町村教育委員会食育担当者・学校長・栄養教諭・学校栄養職員等に対し、朝食欠食に対する指導等の食に関する指導の充実 ②全県の学校給食実施校において、11月の1日を千産千消デーと設定し、地場産物及び県内農水産物を活用した食育を推進するよう、市町村教育委員会及び学校給食関係者に呼びかける。 ③健康・体力づくりモデルプランの普及・啓発
成果	<ol style="list-style-type: none"> ①保護者への啓発と連携体制の一層の強化を図るとともに、学習指導要領を踏まえ、食育の組織的・計画的な実践を支援に努めた。 ②地域の食文化の理解や食べ物への感謝の心の育成、安全な食材の確保という観点とともに、関係部局と連携し、関係機関や生産者等の協力の下、安定的な供給への配慮をに努めた。 ③子ども達が自分に合った健康・体力づくりができるよう、今後とも学校職員・地域関係者・保護者等と連携しながら対応に当たった。
課題・問題点	<ol style="list-style-type: none"> ①大部分の保護者は、理解し、協力を得られるが、食育の重要性を理解してもらいたい保護者にはなかなか声が届きにくい。 ②それぞれの市町村の重点の置き方にも差があり、その活用について更に、関係機関や生産者等と協力し、供給の拡大を図る必要がある。 ③子ども達が自分に合った健康・体力づくりができるよう、今後とも養護教諭・担任・家庭と連携しながら対応に当たりたい。
今後の方針等	<ol style="list-style-type: none"> ①学校全体としての指導体制の充実を図り、より多くの保護者の理解に努める。 ②それぞれの市町村の重点の置き方にも差があり、その活用について更に、関係機関や生産者等と協力し、供給の拡大を図る。 ③子ども達が自分に合った健康・体力づくりができるよう、今後とも学校職員・地域関係者・保護者等と連携しながら対応に当たりたい。